

2019年6月21日

事業説明会

ユナイテッド株式会社

(東証マザーズ:2497)

ビジョン

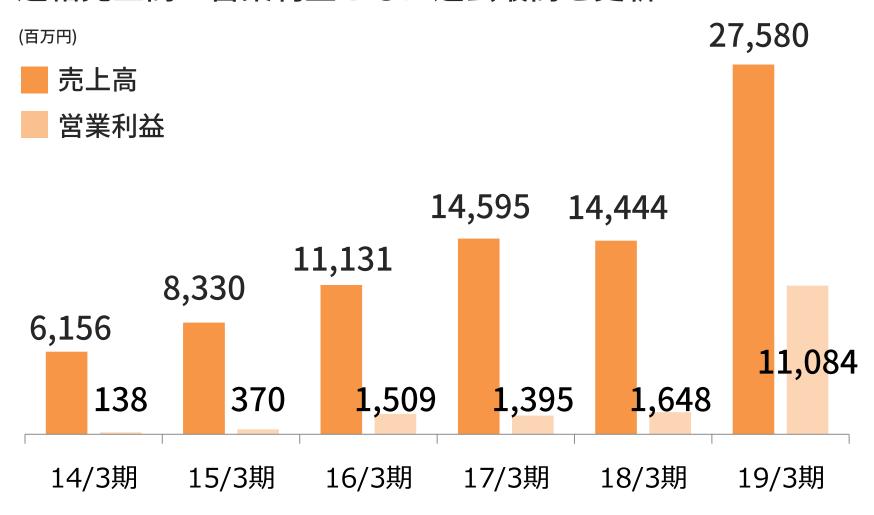
日本を代表する インターネット企業になる

ミッション ―

挑戦の連続によりあたらしい価値を 創り出し、社会に貢献する

連結通期業績推移

投資先の㈱メルカリの上場に伴う株式売却等により、 連結売上高・営業利益ともに過去最高を更新



中期経営計画「UNITED2.0」(2018年8月3日発表)

定性目標

UNITEDエンパワーメントプラットフォーム (UEP) の確立とその活用によるビジョンの実現

定量目標

2022年3月期のれん償却前営業利益

チャレンジ目標 100億円 コミット目標 50億円

(いずれもメルカリ株の売却を除く)

中期経営計画「UNITED2.0」定性目標-UEPの確立

起業家・事業家・経営者とスペシャリストが集まり、 チームユナイテッドとして成長出来るプラットフォーム 社員採用 M&A 外部人材 プロフェッショナル人材 育成 リーダーシップ人材 スペシャリスト人材 経営者 起業家 事業家 $0\rightarrow 1$ $1\rightarrow 10$ 10×10 多様な事業機会 既存事業強化 新規事業創出 投資

JV

中期経営計画「UNITED2.0」定量目標

定量目標

2022年3月期のれん償却前営業利益 チャレンジ目標 100億円 コミット目標 50億円

(いずれもメルカリ株式の売却益を除く)

中期経営計画一重点戦略項目

中期経営計画達成に向けた非連続な成長を目指し、 以下を重点的に実施

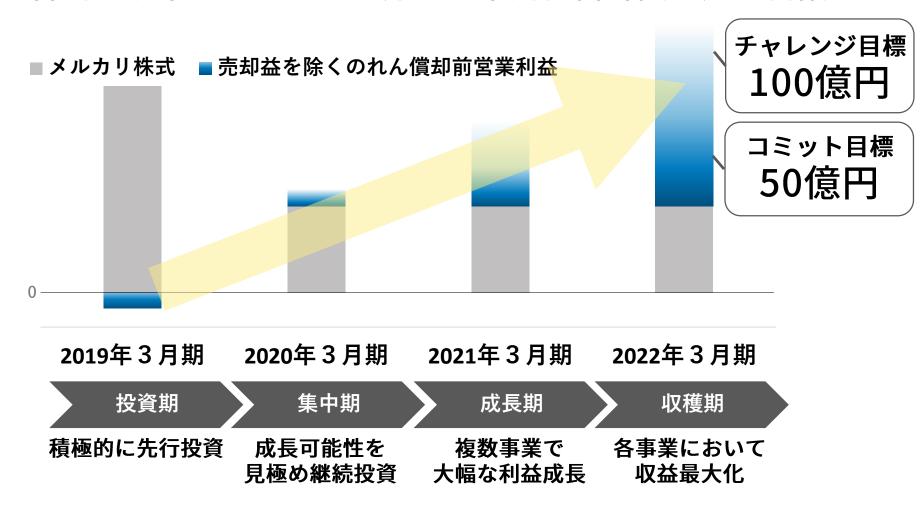
■既存事業の成長加速

■M&A・投資の積極化

■新規事業創出の強化

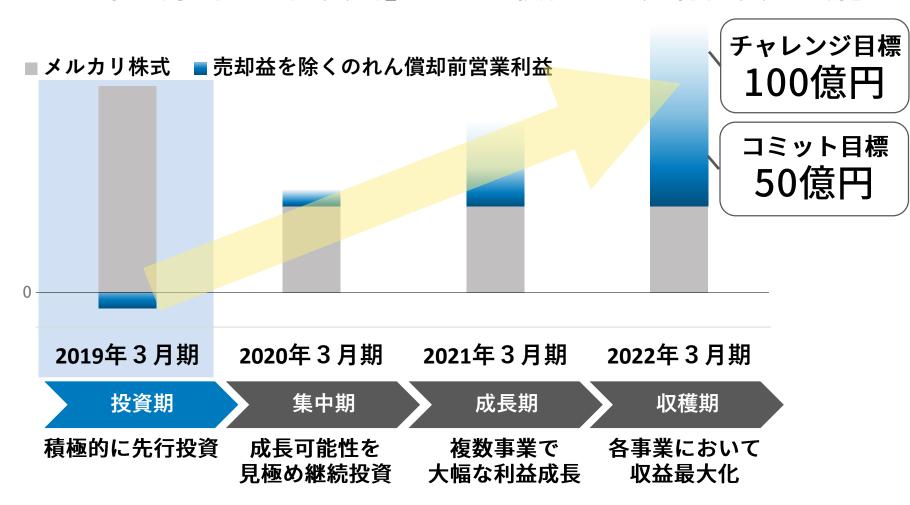
中期経営計画ロードマップ

各期を以下のフェーズに分け、中期経営計画達成を目指す



中期経営計画ロードマップ

2019年3月期は「投資期」として積極的な先行投資を実施



2019年3月期の成果

2019年3月期の成果

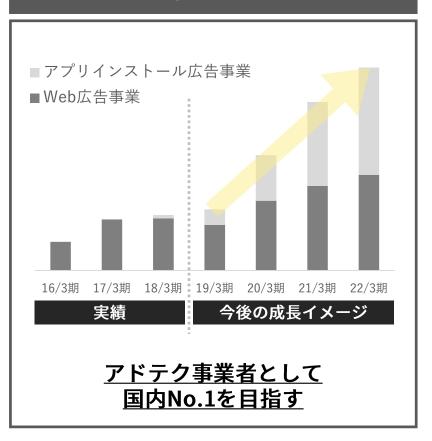
■既存事業の成長加速

- ■M&A・投資の積極化
- ■新規事業創出の強化

(中計より再掲) アドテクノロジー事業

スマホウェブ領域でadstirが保有する広告在庫のマネタイズを強化することで 安定的な成長を目指すとともに、アプリインストール広告事業の成長に注力する

中期売上高成長イメージ



既存事業領域

スマホウェブ広告事業

既存プロダクトで築いた強みや顧客基盤を 基に競争力を高め収益性の向上を目指す







新規注力事業領域

アプリインストール広告事業

中期経営計画期間中の成長ドライバーとして グローバルに取組みを強化

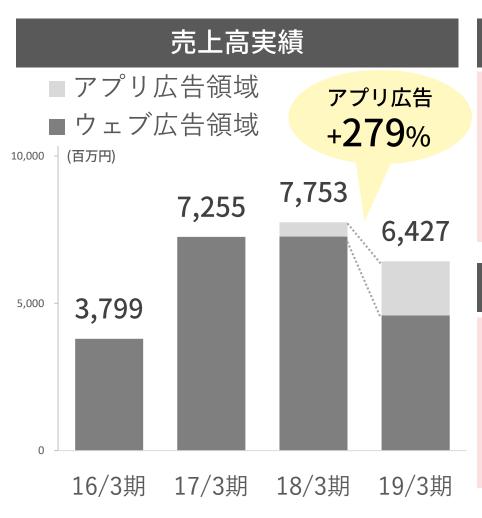


NEW

VidSpot $\Lambda Deals$

アドテクノロジー事業-中計進捗

アプリ広告領域が伸長、ウェブ広告領域では収益性が改善



既存事業領域(ウェブ広告)

想定より売上成長が鈍化、 収益性改善に方針転換し 粗利率3Q:8%→4Q:16%に

新規注力事業領域(アプリ広告)

「ADeals (アディールズ)」の立ち上がり順調、想定 通り成長し前期比+279%

アドテクノロジー事業ー今後の方針

2020年3月期の方針

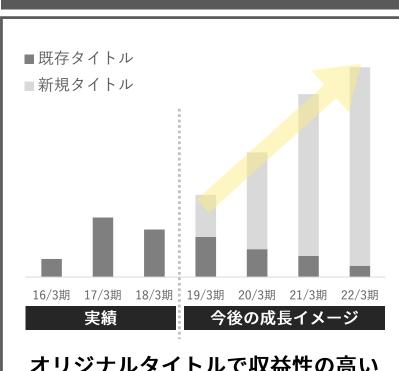
既存事業領域 (ウェブ広告) 売上の大幅な成長は狙わず、 収益性を重視する方針

新規注力事業領域 (アプリ広告) 顧客の課題に合った新規プロダクト を複数開発し、継続的な売上・利益 成長を目指す

(中計より再掲) ゲーム事業

既存タイトルの収益維持と並行し、新規オリジナルタイトルを継続的に リリースしヒットタイトルの創出によって収益貢献を目指す

中期売上高成長イメージ



<u>オリジナルタイトルで収益性の高い</u> ゲーム事業ポートフォリオを構築

既存タイトル



プロモーションと運用の 最適化による収益維持

新規タイトル



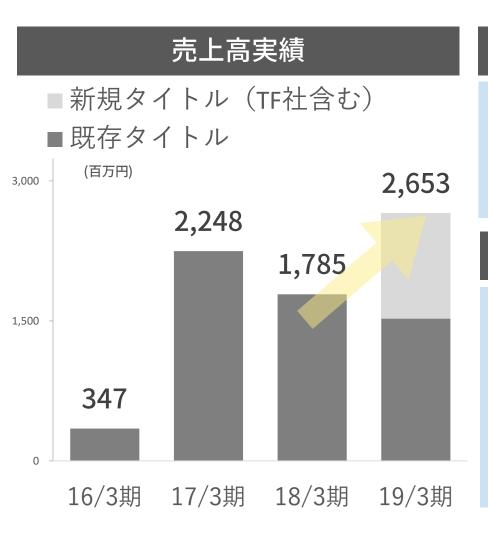
2019年3月期に2本、 以降毎期1-2本リリース

重点施策

- ■内製開発力の強化 採用強化に加えM&Aや投資を通じた開発体制の強化
- ■マーケティングノウハウの活用 既存タイトルやアドテク事業で培ったノウハウを活用
- ■グローバル施策 クラッシュフィーバーでの海外展開実績を応用
- **■運営力の強化** 既存タイトルで効率的な手法を確立し横展開

ゲーム事業ー中計進捗

既存タイトルは継続して収益貢献、新規は想定を下回る



既存タイトル

マーケティングノウハウの 活用や運営力向上により、 収益性を維持

新規タイトル

- 新規タイトルをリリース するも計画比減収
- ・トライフォート買収により開発力強化、ポートフォリオ拡充

ゲーム事業ー今後の方針

2020年3月期の方針

既存タイトル

引き続き、収益貢献を計画

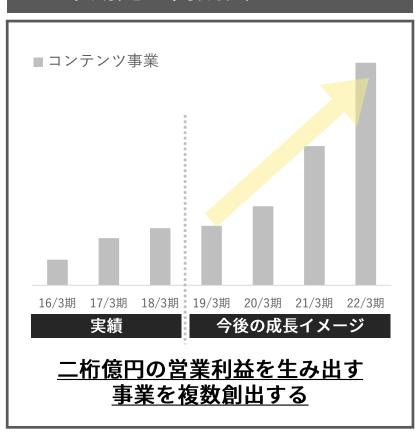
新規タイトル

市場における競争激化を踏まえ、 収益性をコントロールしながら開発

(中計より再掲) コンテンツ事業

安定収益事業と成長期待事業に分け、 成長期待事業に積極的に投資を行う

中期売上高成長イメージ



成長期待事業

Smarpr!se





KIRAMEX

2019年3月期に先行投資を実施し、成長事業の 立ち上げに注力。中期経営計画期間中に 営業利益二桁億円を創出する事業を複数生み出す

安定収益事業

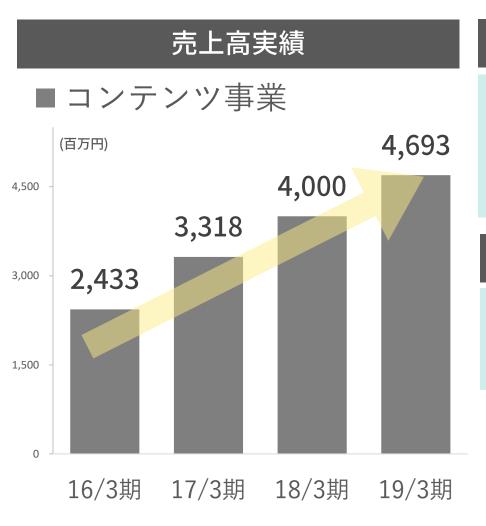




既存事業における強みを活かし、 周辺領域に事業拡張を行い安定的に 収益貢献していくことを目指す

コンテンツ事業-中計進捗

成長期待事業が牽引し、売上高は順調に成長



成長期待事業

- ・ 主力事業のさらなる成長を 目指し事業展開
- 新規事業へ先行投資を実施

安定収益事業

事業環境の変化に合わせ、 事業領域を拡充

成長ポテンシャルのある 事業への選択と集中を進める

2019年3月期の成果

■既存事業の成長加速

■M&A・投資の積極化

■新規事業創出の強化

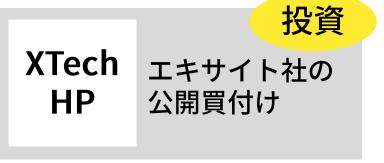
M&A・投資の成果

M&A・投資により、各事業でのポートフォリオ拡充、 プロフェッショナル人材の獲得を推進









インベストメント事業の成果

経営陣を中心とした人的ネットワークを活用し、 様々なステージのスタートアップ企業への出資機会を獲得

主な投資先スタートアップ







主なLP出資先ファンド



new = 2019年3月期以降に投資

2019年3月期の成果

■既存事業の成長加速

■M&A・投資の積極化

■新規事業創出の強化

2019年3月期に立ち上げた主な新規事業

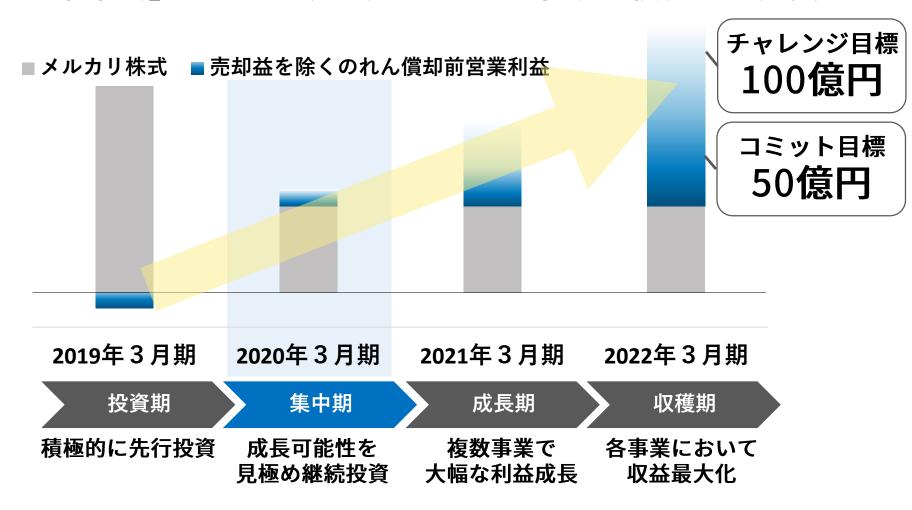
当社及びグループ各社にて、新規事業を複数立ち上げ



2020年3月期方針

中期経営計画における2020年3月期の位置付け

「集中期」として、成長の見込める事業に積極的に投資



2020年3月期通期:各事業の方針

中期経営計画達成に向け、成長性の高い事業へ投資を継続

・ アプリ広告領域へ経営資源を積極投下 アドテクノロジー ・ ウェブ広告領域では引き続き収益性重視 既存タイトルは収益を維持しつつ、 ゲーム 新規タイトルはリスクを抑え開発 • 高い成長性の見込める領域を見極め、 コンテンツ 先行投資を継続 新規投資を継続して実行し、 インベストメント キャピタルゲインによる収益貢献を期待

ビジョン

日本を代表する インターネット企業になる